

荒廃農地再生事業

取組に至る背景・事業の目的

地域全体に荒廃農地が目立ち、加えて獣害の被害が著しい状況であったため、地域内の荒廃地の整備を行い農地を再生し、省力化と自然景観の保全を目標にして、羊の放牧地として活用することにした。

事業内容

- 放置されたブドー棚や竹やぶを撤去整備し、荒廃した農地を再生、地域の環境保全に努めた。
- 再生農地 20 a に羊を放牧。農地の保全と省力化を図り、牧歌的で豊かな郷土を創造した。
- 羊とふれあうコーナーを設け、子どもたちに夢を与え、情操教育を進めた。
- 放牧地 1 地区 20 a、飼育棟 1 棟 50 m²、ひつじ登録、飼料調整機など。



【荒廃農地の整備】

事業効果

- 村内で辺地とされる地域で、住民総意の取組は注目され、地域に活力と勇気を与えた。
- 取組は村内でも高く評価され、モデル的存在として農業委員会でも参考にされた。
- 羊の放牧飼育が軌道に乗れば、運営も安定する。肉の消費も村内での拡大を図る。



【子どもたちとのふれあい】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- もっと羊を増やしたいが、直接受益者と非受益者の負担の公平性が課題。
- 今後は、更に放牧場の充実を図り、羊の飼育を重点に通年 40 頭を目標にしたい。
- 肉の消費拡大と販路を広める。
- 子どもたちに一層親しんでもらうよう環境を整備、特に花木を植栽し、ふれあい公園を作りたい。

【選定のポイント】
耕作放棄地の整備、羊の飼育舎の設置により地域の景観保全が図られた。また、羊とのふれあいの場となるコーナーを設置し、「牧場祭り」を開催するなど、地域の活性化にもつながっている。羊毛等の活用やヒツジの放牧を村全体に広めることも検討されており、今後の活動が期待される。

団体名 管社里山ひつじ会（青木村） 連絡先 0268-49-3017	事業タイプ ソフト・ハード事業 事業費 4, 1 7 5, 7 7 4 円 支援金額 3, 0 2 8, 0 0 0 円
---------------------------------------	--